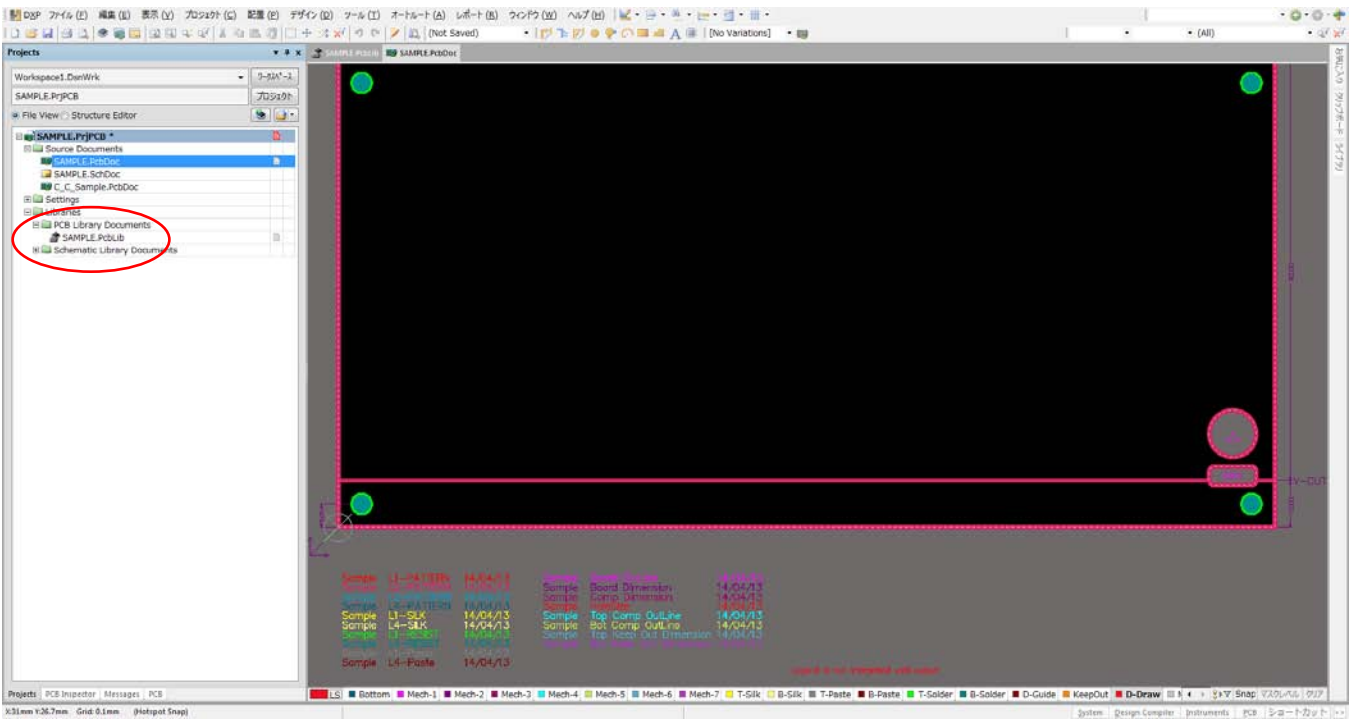
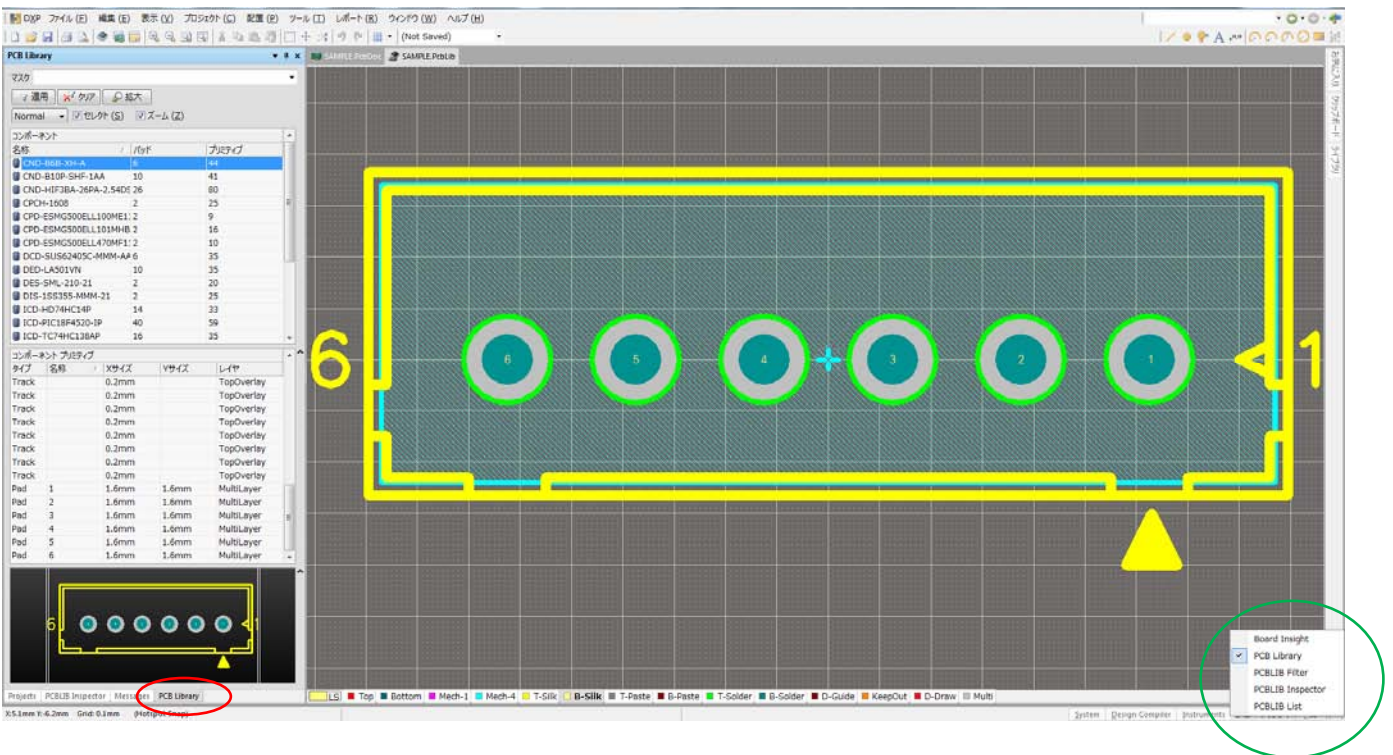


部品配置

部品データの配置方法は2種あります。(部品ライブラリーからの配置)

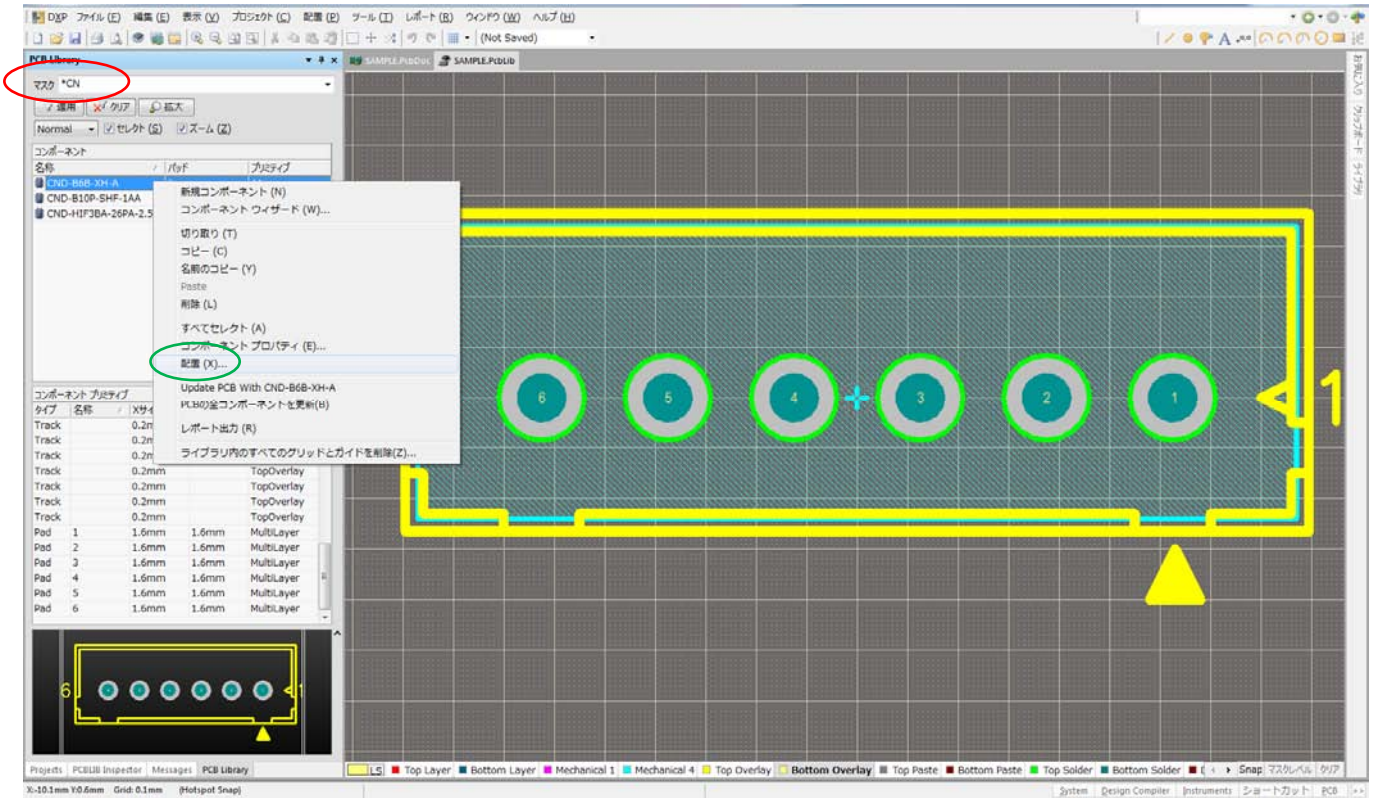


部品ライブラリーの作成画面



赤印：PCBLibrary (表示がない場合は緑印のPCB>>PCB Library にチェック)

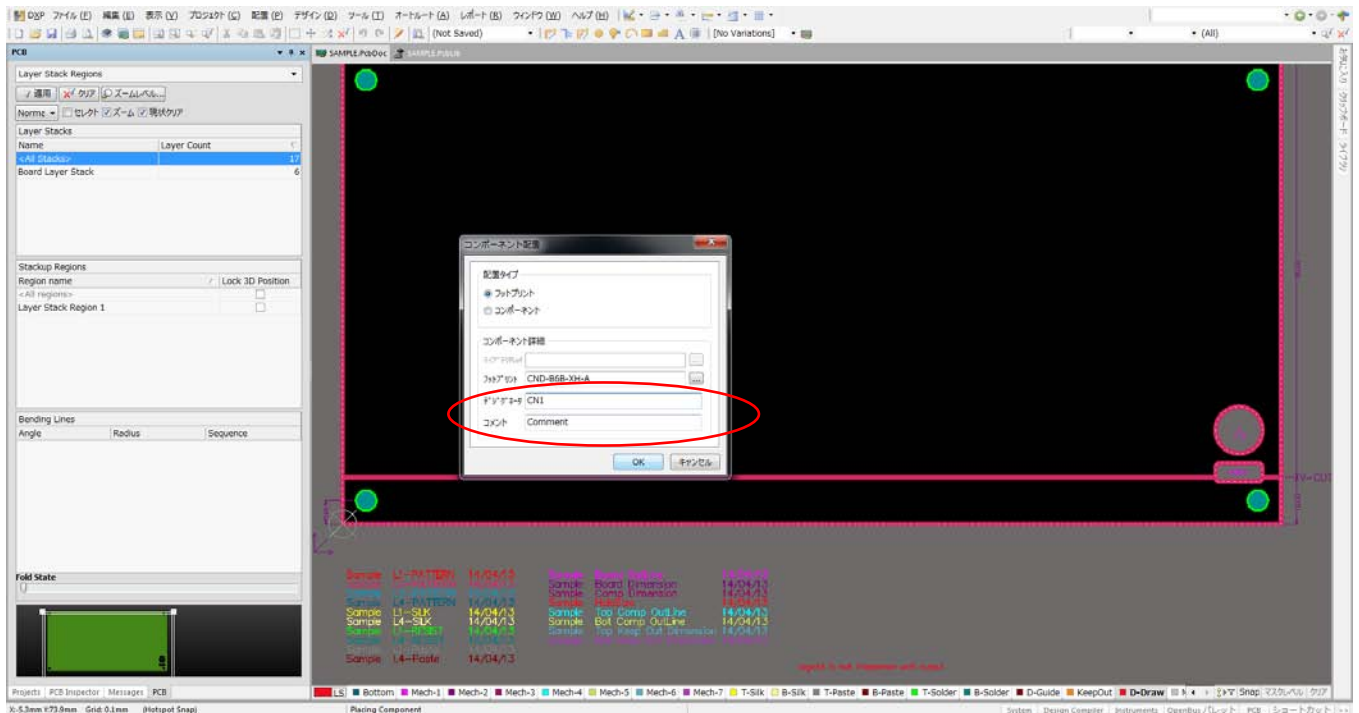
部品検索→配置したい部品名にカーソルを移動し右クリック



赤印：マスクのボックスに\*XXXを入力（\*で曖昧検索）

緑印：サブメニューの配置を選択

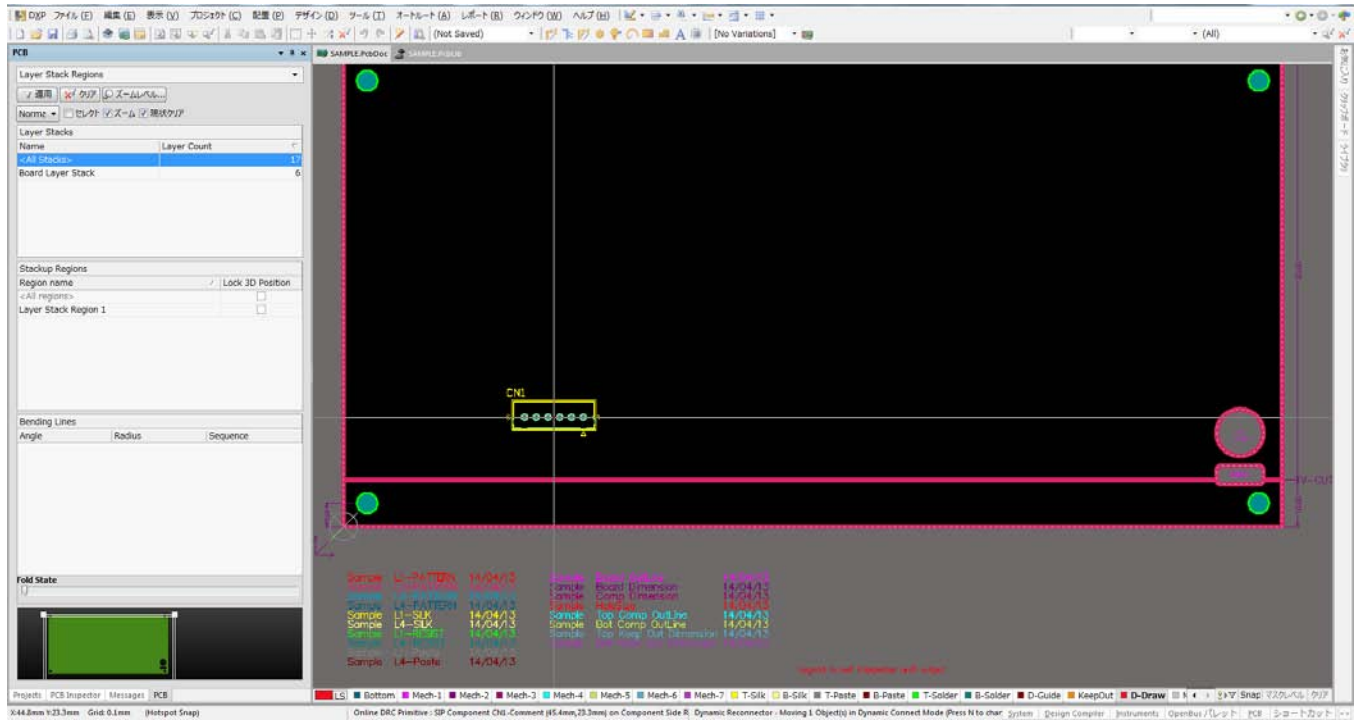
デジグネータの入力（部品番号）



コメント使用方法：コメントの入力はなくても可

部品型格・抵抗値・容量・テストピン名・デジグネータと違う名称入力時など  
部品プロパティで表示の ON/OFF 可能

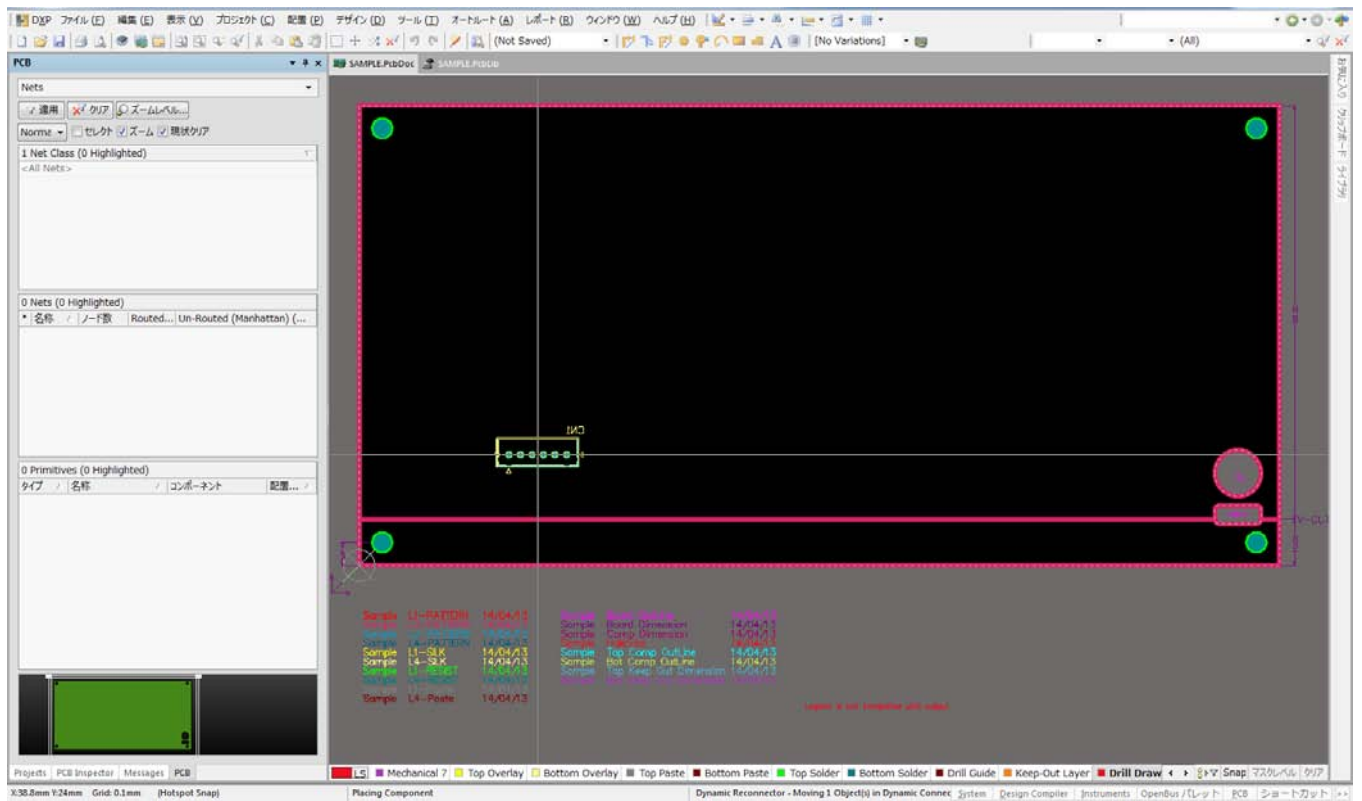
配置 (部品面)



そのまま配置

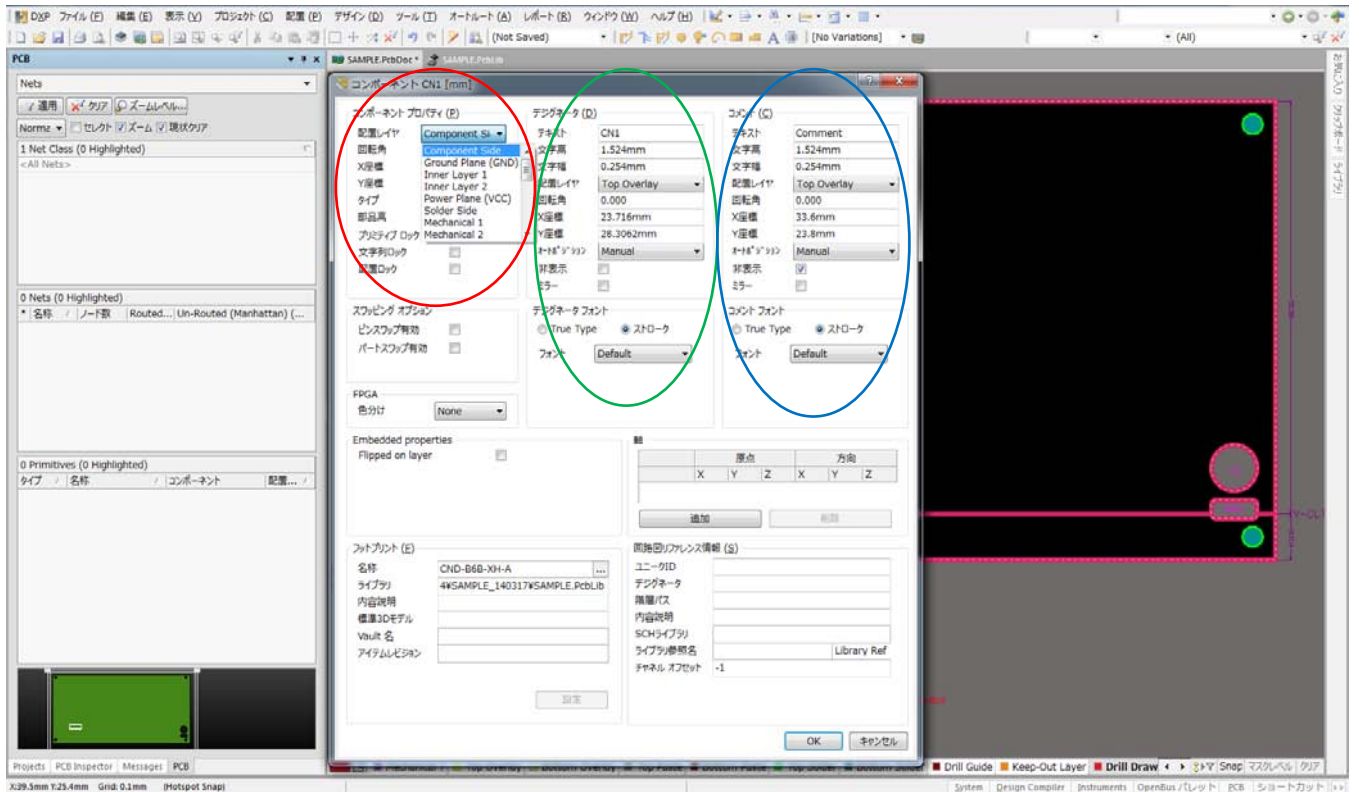
同じ部品を配置する場合は、そのまま配置するとデジグネータはカウントアップします。  
 (デジグネータがダブる場合はカウントアップは番号を飛ばして配置されます。)

配置 (半田面)



キーボードで「L」を押す。

## 部品プロパティ



赤印：コンポーネントプロパティ

配置層：AD14 前は部品面/半田面しかありませんでしたが、AD14 から全層に配置可能になりました。

プリミティブブロック：部品データを個々のオブジェクトに分解

配置ロック：位置指定部品などをロック

緑印：デジグネータ（部品番号・シルク表示）

テキスト：デジグネータ

文字高：シルク文字高（0.8mm～1.6mm）

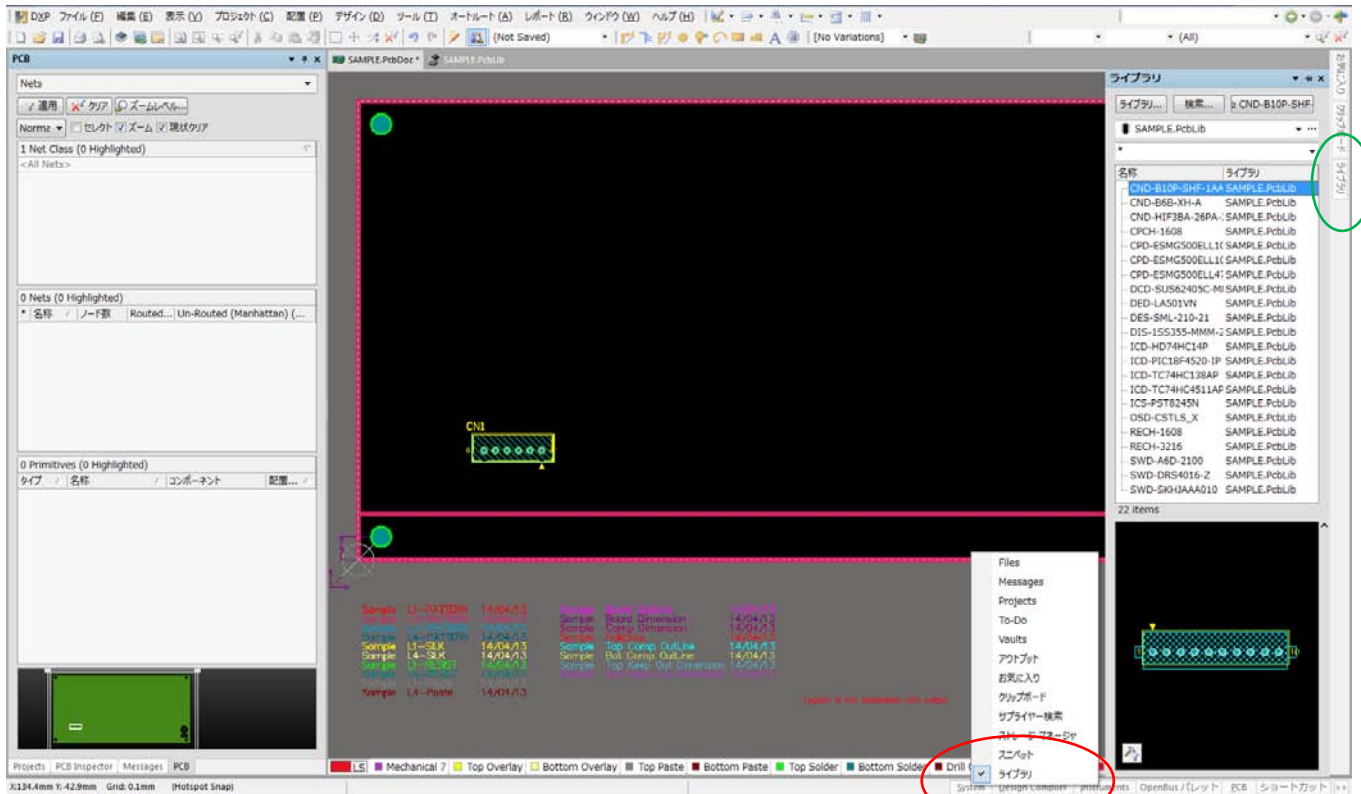
文字幅：シルク文字幅（0.15mm～0.2mm）

非表示：シルク表示の有無

青印：コメント（型格）

非表示：シルク表示の有無

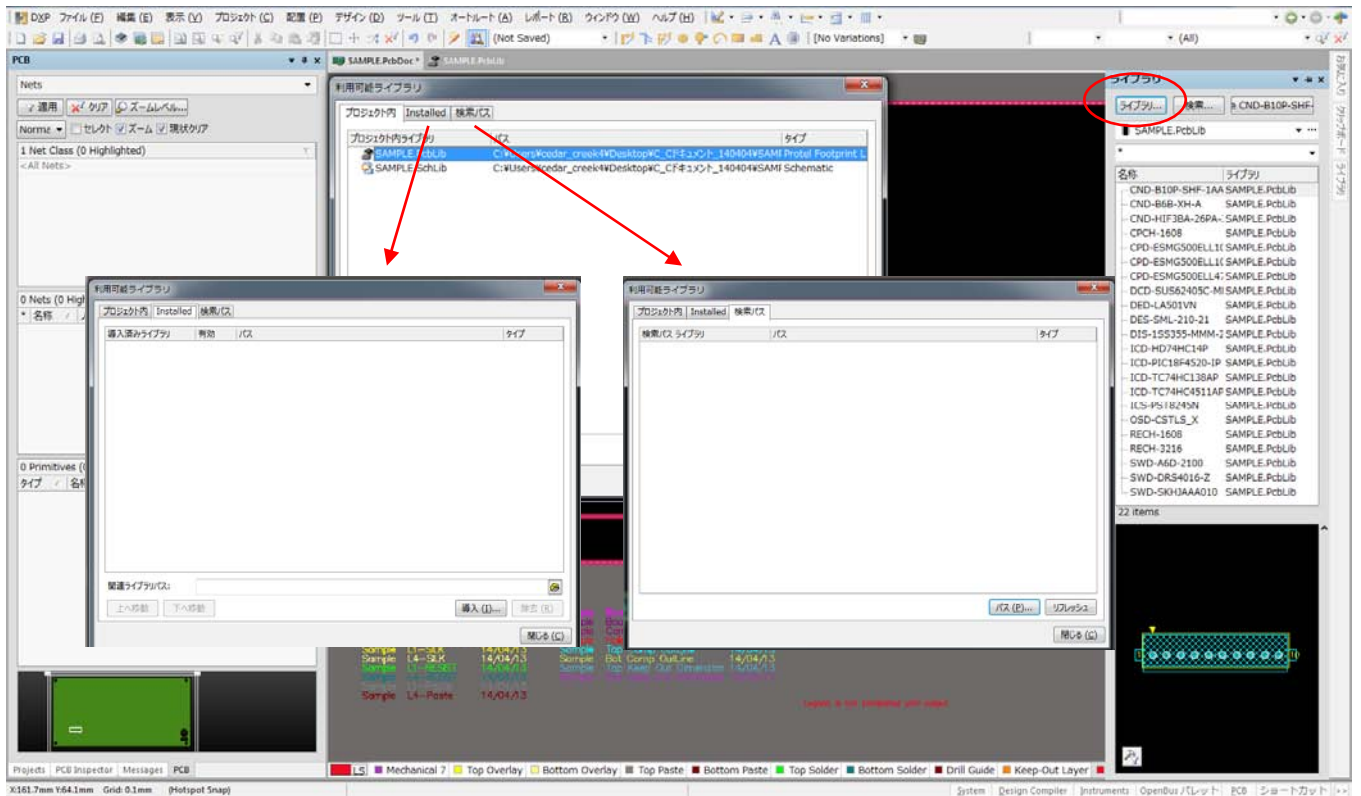
部品配置 2



赤印：System>>ライブラリ

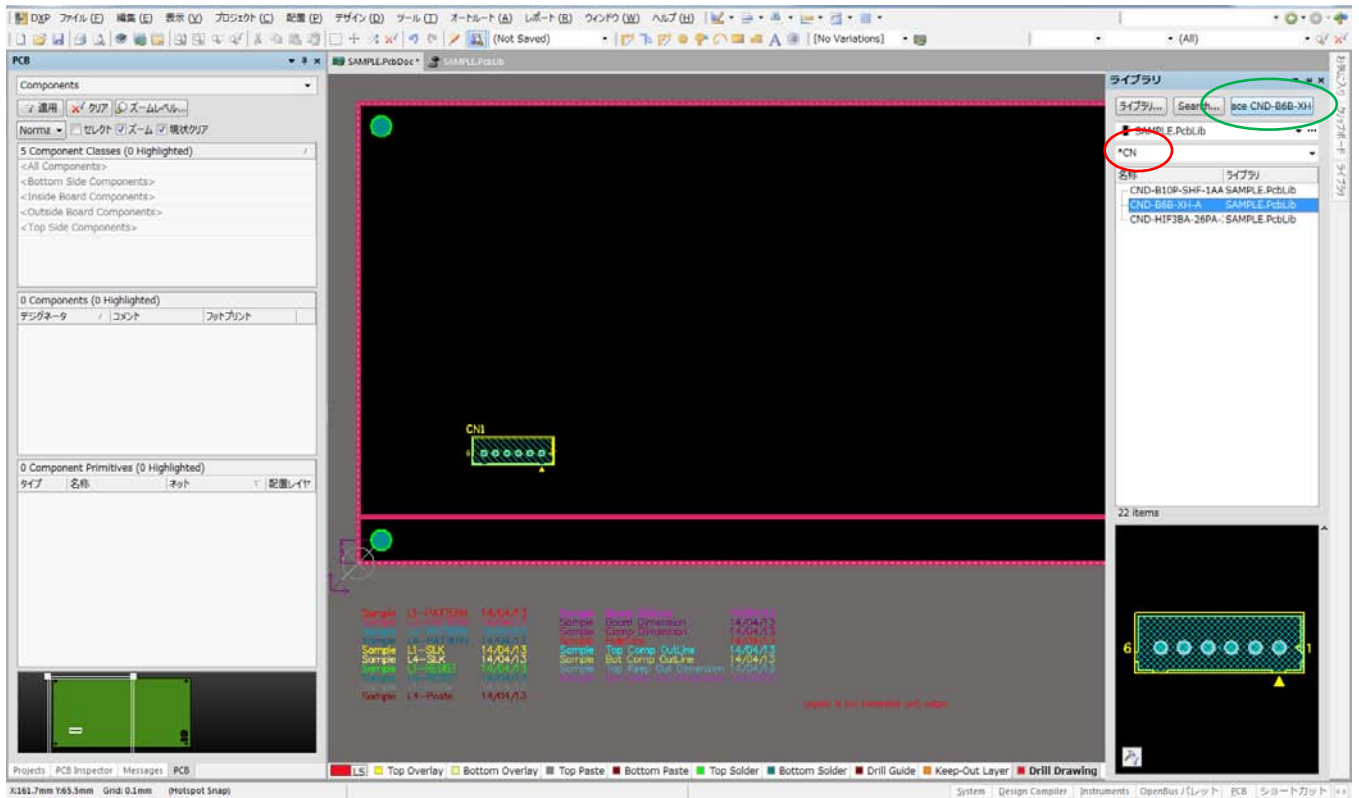
緑印：ライブラリ

利用可能ライブラリの設定



使用するライブラリーの保管場所の指定

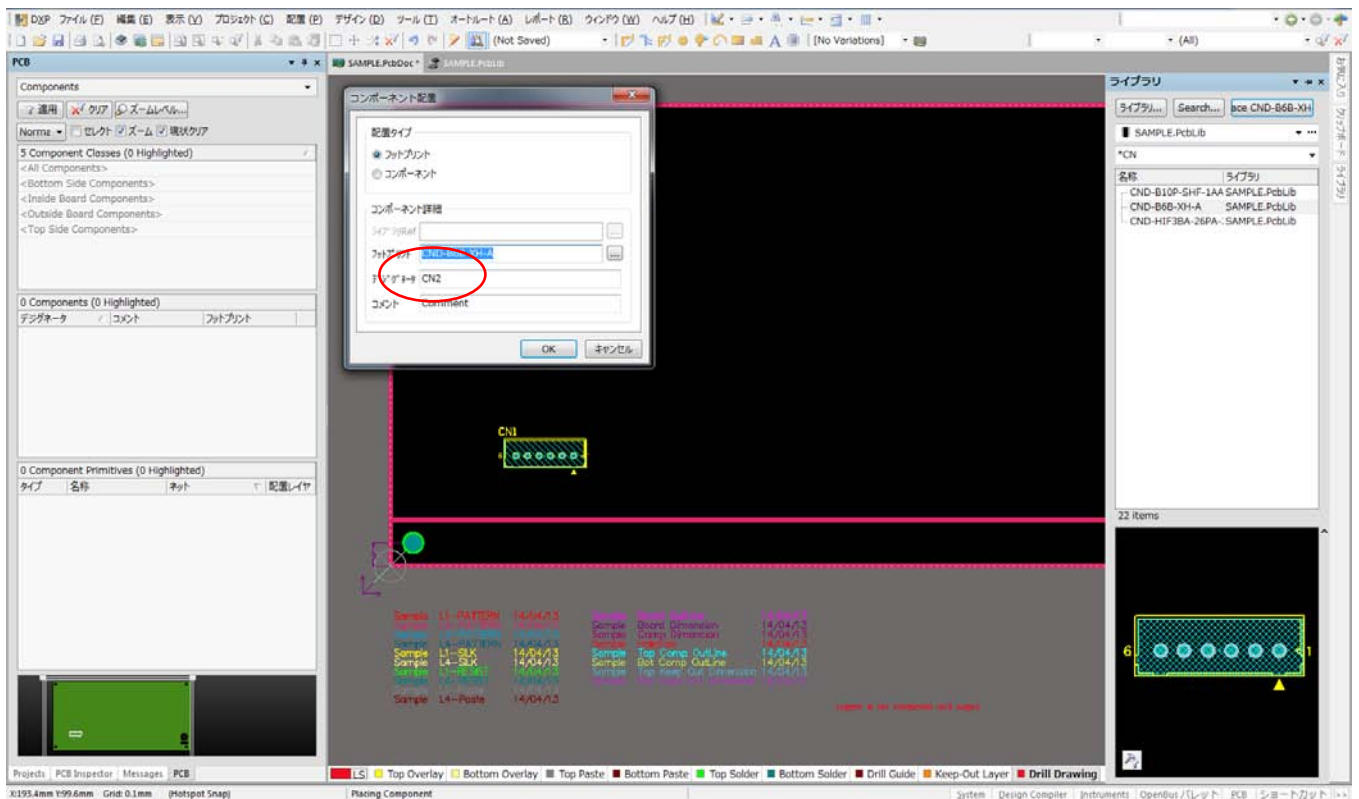
部品検索



赤印：\*を残したまま、型格入力（下の部分に該当ライブラリーが表示されていく）

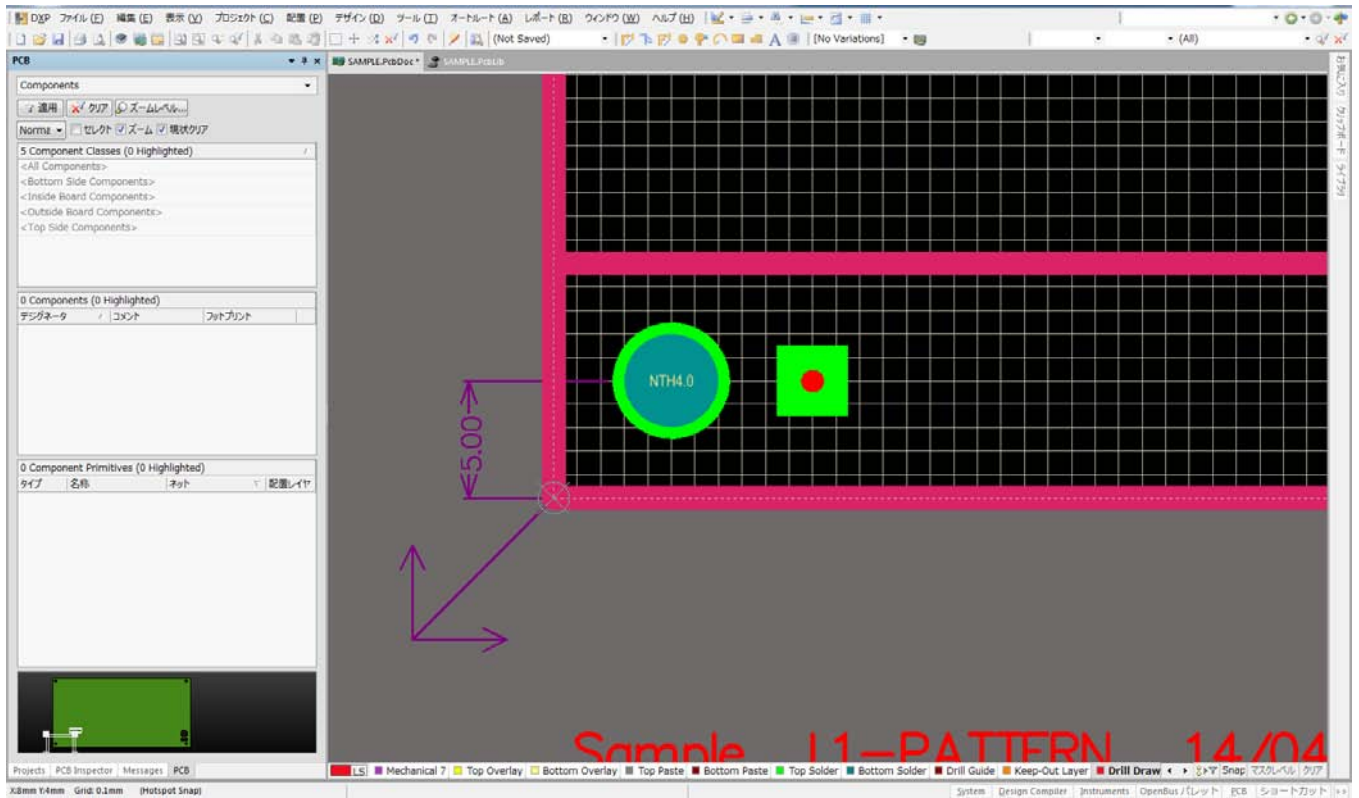
緑印：該当ライブラリーの配置

部品番号の入力

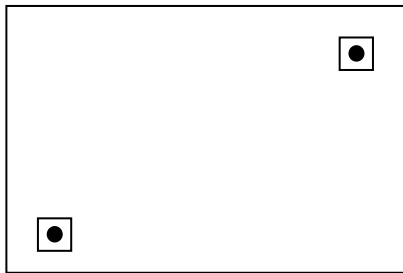


赤印：デジグネータを設定して配置

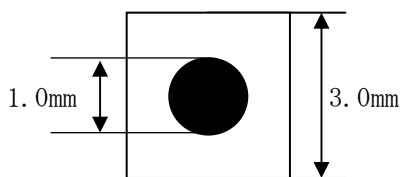
## 基板認識マーク



## 基板認識マーク



基板の対角に認識マークを入れる。  
捨て基板がある場合は捨て基板上で  
客先からの指定が無い場合は、  
4 隅の搬送用キリ穴の内側辺りに配する。



認識マークは  $\phi 1.0\text{mm}$

レジスト逃げ  $\square 3.0\text{mm}$  を標準とする。

$\square 3.0$  の中にはパターンやシルクが入らない事。

マーク下の内層には、パターンや内層分割線が来ないように注意する。

ユーザーの仕様がある場合はそれに従う。